

女川 いのちの石碑

千年後の命を守るために

千年後の命を守りたい… そんな思いを胸に、女川中学校の生徒たちは社会科の授業を通して新しい防災プランを作り上げました。



11月23日に行われた除幕式の様子（竹浦の神社にて）

テーマは「絆を深める」「高台への避難ルート」「記録に残す」の3つ。町にある21の浜の、津波が襲ってきた高さより上の地点に石碑を建てるという計画は、「大人たちに頼ってばかりはいられない」と、生徒たち自身が考え、募金をつのり、多くの人の協力で実現しました。現在、女川中学校と、竹浦の神社に建てられています。いずれは、21の浜すべてに建てるそうです。

俳句：夢だけは 壊せなかった 大震災

女川中学校 山田木助君(15)

たげなの海

竹浦支部では、2012年夏から、竹浦地区の漁業と観光の発展、一日も早い復旧復興を目的として、竹浦の海に潜って楽しむダイビングを受け入れています。

震災直後、竹浦の海や漁業者の力になってくれたのが、三陸ボランティアダイバーズさんでした。浜や海中のがれき撤去など、ダイバーさんと漁業者さんの繋がりは、今では切り離せないものだろうと思います。

もちろん、竹浦のすべての人にとっても同じ気持ちでしょう。竹浦の海を取り戻すために尽力してくださっているダイバーさんには、心から感謝しています。本当にありがとうございます。



クキバシカジカ 体長8cmくらい

産卵時期は3月。オスが卵を守ります。



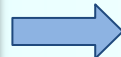
いってらっしゃーい



ホヤの養殖(2012年6月撮影)

ダイビングでは、震災を経て、豊かさを取り戻す三陸の海を知ることができます。たげなの自然を、多くの人に感じてもらいたいですね。

こんなに大きくなりました。



来年いよいよ初水揚げです。



震災後、三陸沿岸でダイビングができる場所としては、竹浦が第1号だそうです。

竹浦のダイビングスポットは、こんびら様と、あご島の2か所です。

イソギンポ

1cmくらいの穴から顔を出して、キョロキョロ。



体長5cmくらい

コケギンポ

色の種類が豊富です。白、オレンジ、茶色…。ひたいのフサフサが人気の魚です。

エサ、流れてこないかな。

正しくダイビングが行われることは双方に有益であり、将来の竹浦にとって、ダイバーと「共生すること」「協働すること」「共栄すること」は、大切な要素となるかもしれません。